

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム岩崎あいの郷

目標達成計画

作成日: 平成 29年 11月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	正しい認知症の理解が全職員できていない。入居者に何かが起こればそれを『問題行動』と考えてしまうことがある。勤務年数が増えたと自分流がでてしまうことがあるがそれに気付かず、入居者を怒らせてしまうことがまだまだある。	入居者一人ひとりが良い状態でいられる支援を行う。職員一人ひとりが認知症の正しい知識をもつ。	毎日勤務心得と支援方針を唱和する。その意味を理解できているのかを管理者と話す機会をつくる。正しくない支援をしている職員にはその支援を行う目的を聞き、改善していただく。	6ヶ月
2	34	職員によって身につけている知識が違う。	全ての職員が応急手当、初期対応できるようにする。	訓練を定期的に行う。	6ヶ月
3	52	ホーム内は木の温もりあり、広々としているが、季節感がなく、さみしさを感じている方もみえる。	季節によって季節感を出す。	入居者が季節感を感じることができる飾り物をリビングに掛けたり、玄関先やトイレ等にも季節の花を生ける。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。